

平成19年2月22日
独立行政法人 りんぼくいくしゅ 林木育種センター
九州育種場

台風で倒れた天然記念物の「八島のスギ群」の後継樹が里帰り

1 概要

独立行政法人林木育種センター九州育種場（場長 井田 篤雄）では、熊本県山鹿市指定の天然記念物「八島のスギ群」の後継となるクローン苗木を里帰りさせます。

山鹿市鹿央町千田に所在する八島は、約1700年前のころの景行天皇が熊襲征伐の際、立ち寄られたという伝説が残り、「肥後国誌」等の文献にも登場する古来からの史跡です。この八島の千田八幡宮の森には、樹齢が200年～300年のスギが25本生い茂っていましたが、平成3年の台風19号で16本が倒れて枯死し、また、その後の台風被害などで、現在ではわずか2本が残されているのみです。

このようなことから、千田八幡宮では、「八島のスギ群」の保存と再生を図りたいとして、「八島のスギ群」と同じ遺伝子を持つスギの苗木の譲渡申請が九州育種場にありました。

九州育種場では、この要請を受けて、林木の遺伝資源の保存のために場内に植栽していた「八島のスギ群」のクローンから挿し木による増殖を行い、2年で里帰り可能な苗木に育てました。今回の里帰りでは、クローン苗木54本を後継樹として八島に植栽されることとなりました。

なお、九州育種場にある2代目は、台風被害からまぬがれた「八島のスギ群」から平成8年3月22日に採穂して、接ぎ木によって育成された9本のスギです。里帰りする苗木は、以前あったスギと全く同じ遺伝子を受け継いだ3代目として大きく成長し、「八島のスギ群」の復活に寄与することが期待されます。

2 里帰りの日時及び場所

日時：平成19年2月24日午前10時より

場所：熊本県山鹿市鹿央町千田八幡宮の境内



植栽する「八島」



里帰りを待つ後継苗木

担当：独立行政法人 林木育種センター
九州育種場遺伝資源管理課

一本 譲、村上文典

連絡先：電話 096-242-3151
熊本県合志市須屋2320番5